【樹木の部屋】

コウヨウザン（ヒノキ科コウヨウザン属　Cunninghamia lanceolata）

和名：コウヨウザン(広葉杉)

別名：オランダスギ、カントンスギ、リュウキュウスギ

英名：China Fir、Chinese Cedar

マツ目　常緑針葉樹　　原産地：中国南部、台湾

花言葉：雄大、堅固　　花の色：

← 写真-１　コウヨウザンの枝
撮影日：2015 年 5 月 29 日
撮影場所：西福寺(福井県敦賀市)にて
撮影者：M　さん

→ 写真-２　コウヨウザンの枝
撮影日：2015 年 5 月 29 日
撮影場所：西福寺(福井県敦賀市)にて
撮影者：M　さん

←写真-３　コウヨウザンの幹
撮影日：2016 年 5 月 21 日
撮影場所：京都府立植物園にて
撮影者：M　さん

先日、訪れた、敦賀市の西福寺境内と京都府立植物園で見かけました。コウヨウザン・・普段、あまり耳にしない樹木だと思います。一般のご家庭となると尚更だと思います。奈良市郊外のご家庭に3本、植えられていますが・・。剪定の際、葉先が当たると、チクチクとして痛く、作業のしづらい樹木です。大きいものでは樹高30m以上、直径1m以上に成長する樹木で、日本には江戸時代後期に渡来し、神社の境内などに植栽されていることが多いそうです。本来、漢字の「杉」は広葉杉（コウヨウザン）のことを指したといわれ、現在でも中国では、日本の杉の仲間を「柳杉」と呼び、杉（コウヨウザン）と分けて呼ぶそうです。世界的にはコウヨウザン、ラクウショウ、セコイアなどの広葉型の杉が主流で、狭葉型のものは少数だそうです。枚方市にある大阪市立大学附属植物園にも植えられています。